

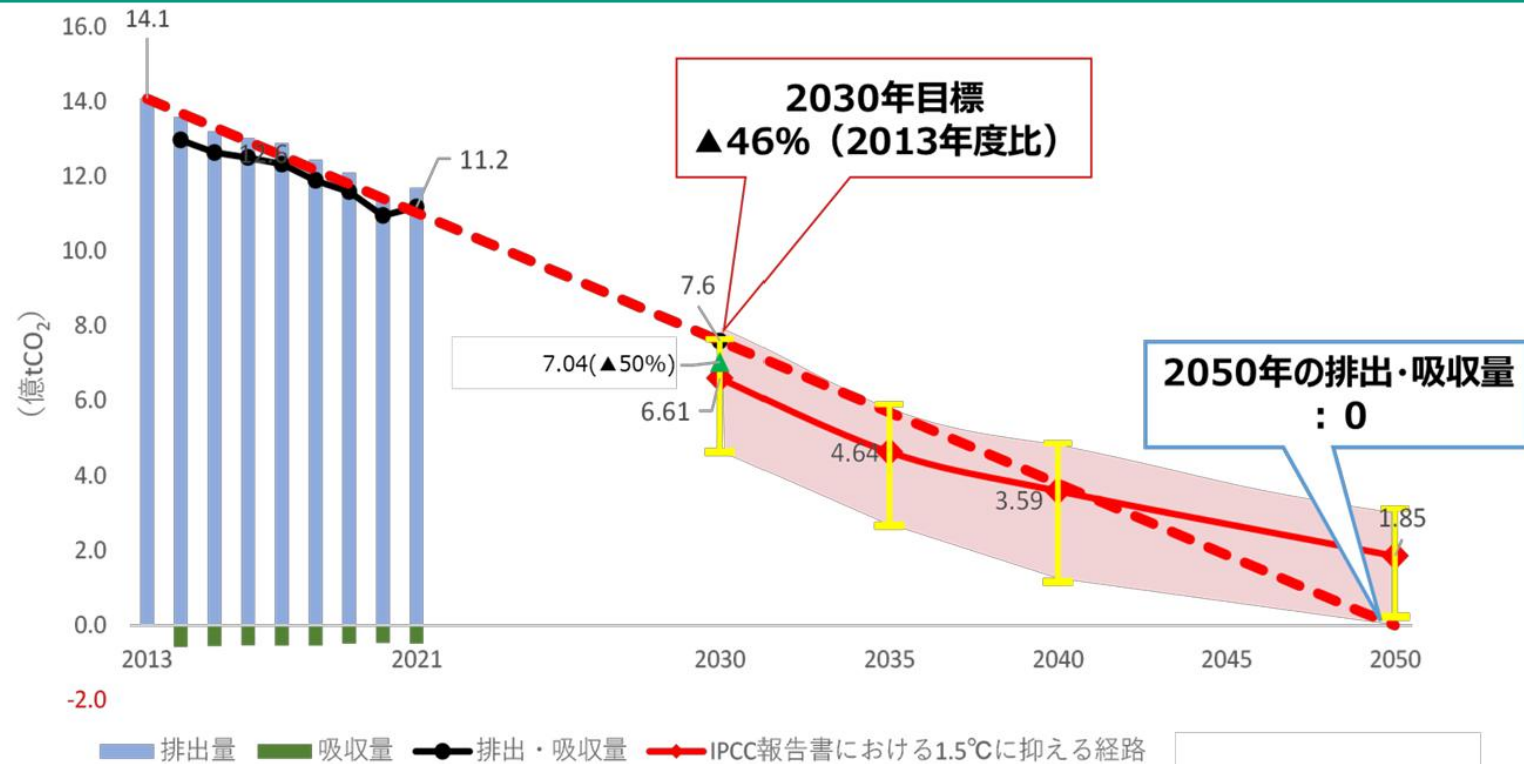
大排出国は脱炭素していない

関連記事 https://cigs.canon/article/20250516_8891.html
https://cigs.canon/article/20250515_8885.html

2050年ネット・ゼロに向けた我が国の進捗状況



- 日本は、1.5℃目標と整合的な形で、2030年度に2013 年度比で46%減、さらに50%の高みに向け挑戦を続けている。
- これまでに約20%を削減。2050年目標に向けて着実に削減を進めてきている。

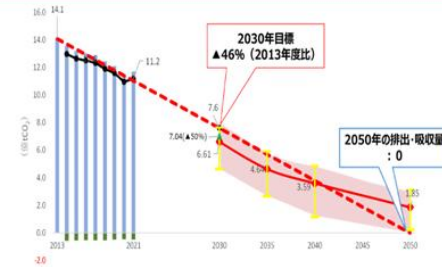


- ※ 1 : 上の図の赤い帯の範囲は、2023年3月に公表されたIPCC第6次評価報告書統合報告書において示された1.5℃に抑える経路における世界全体の温室効果ガス排出削減量(%)を仮想的に我が国に割り当てたもの。
- ※ 2 : 当該報告書では、モデルの不確実性などを加味し、1.5℃に抑える経路は幅を持って示されているため、2030年、2035年、2040年、2050年時点における排出量は黄色線で幅を持って示している。また、その代表値をつないだものを赤色の実線で示している。

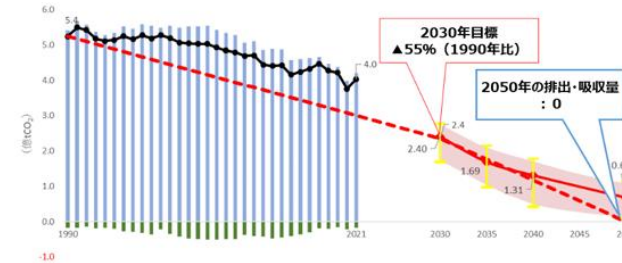
G7メンバーの排出削減の進捗状況



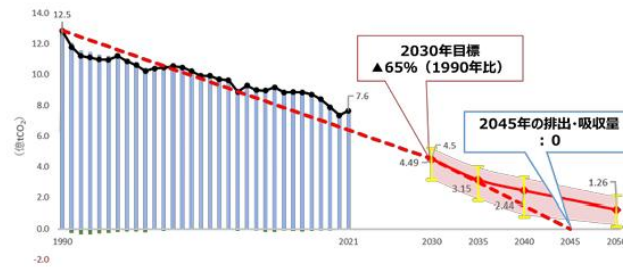
日本



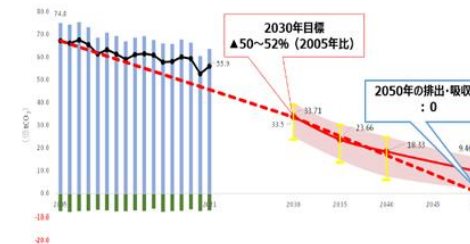
フランス



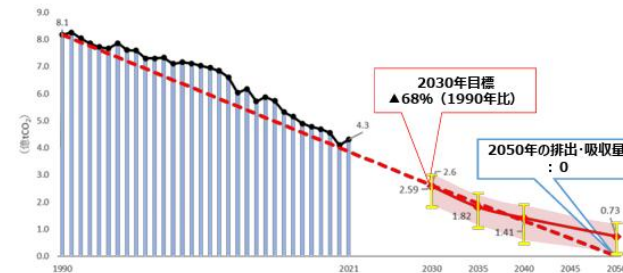
ドイツ



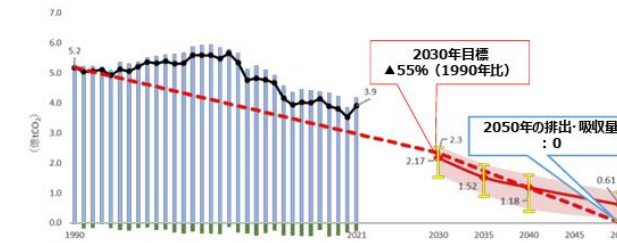
米国



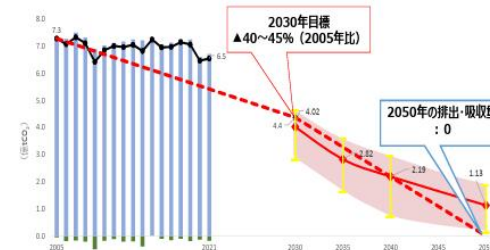
英国



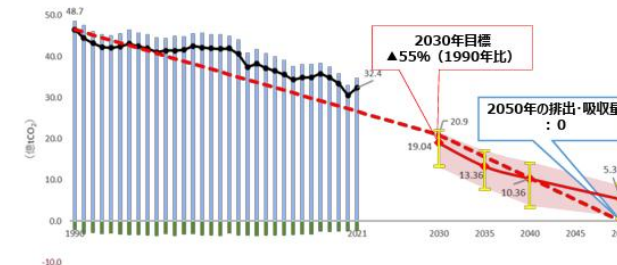
イタリア



カナダ



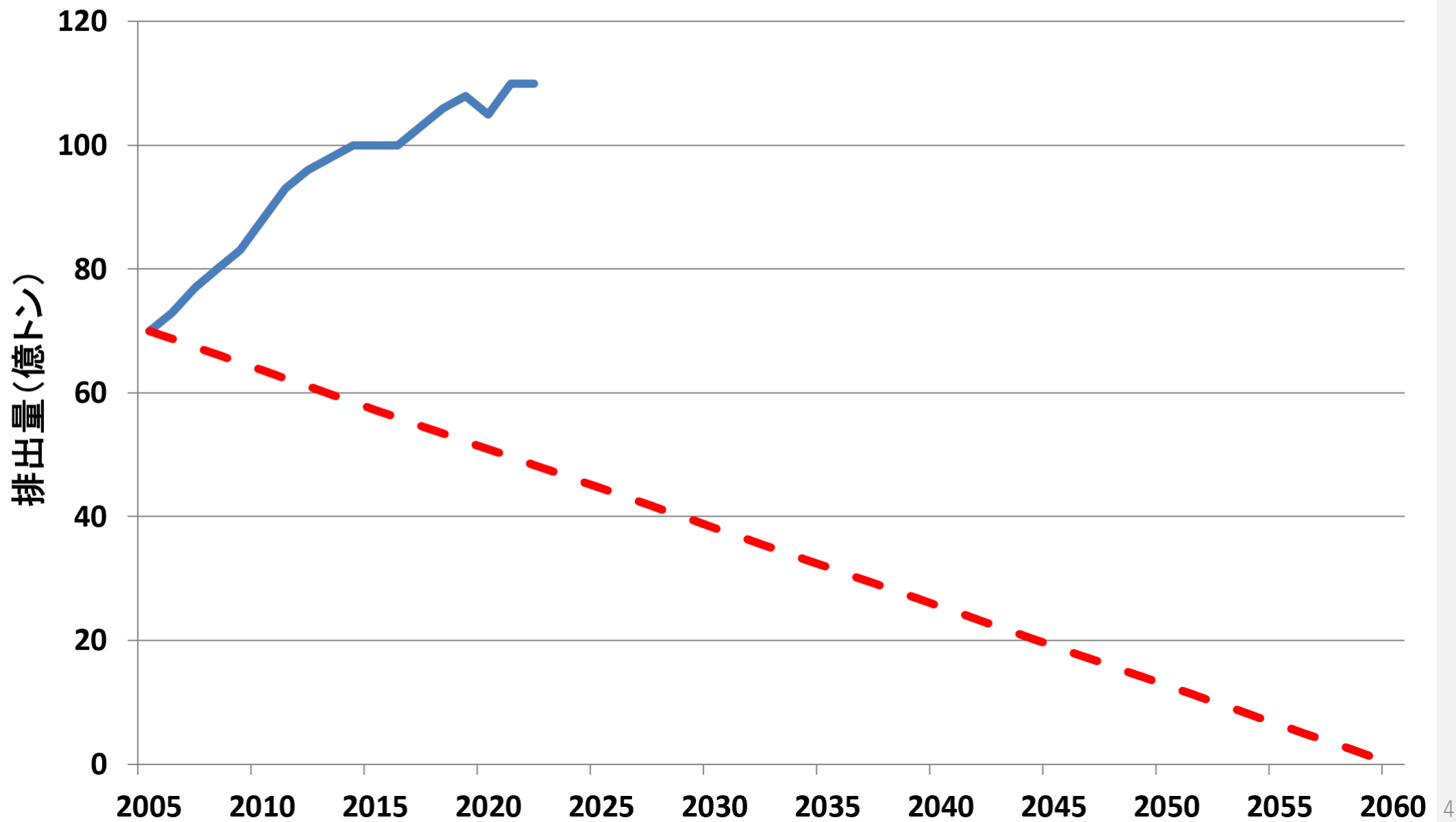
E U



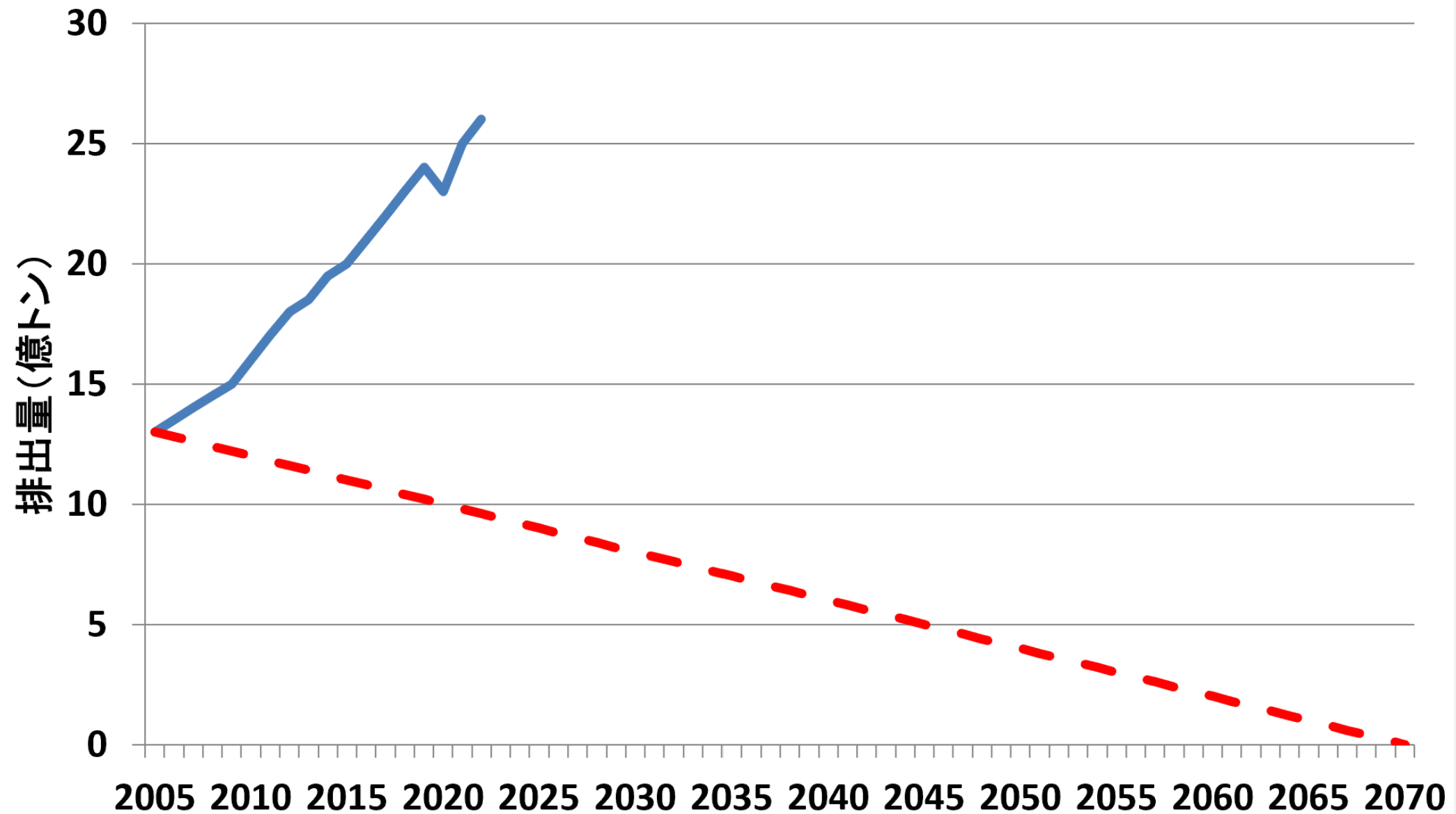
■ 排出量 ■ 吸収量 ● 排出・吸収量 — IPCC報告書における1.5°Cに抑える経路

※グラフの左端の位置は基準年の違いを表している。

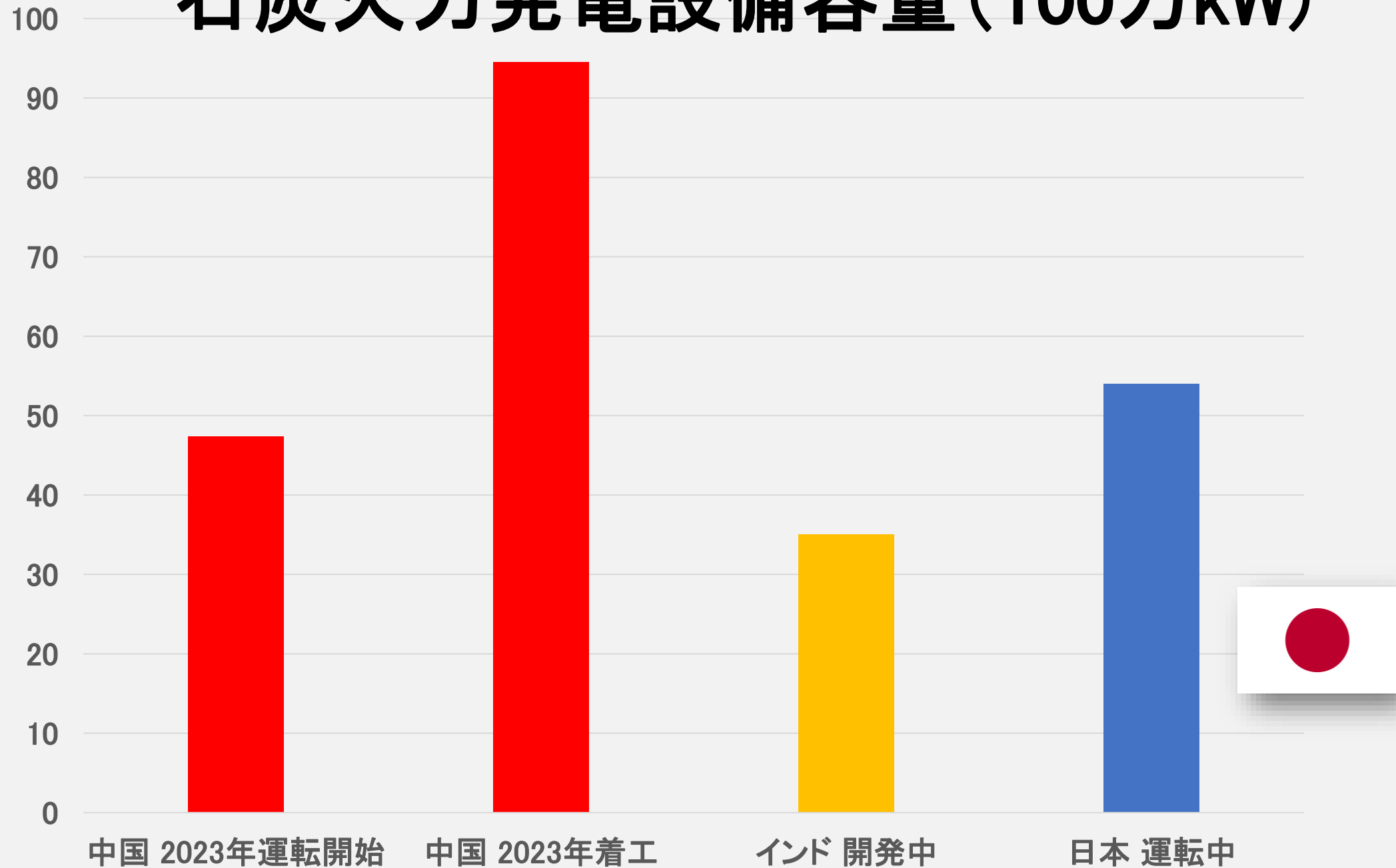
中国



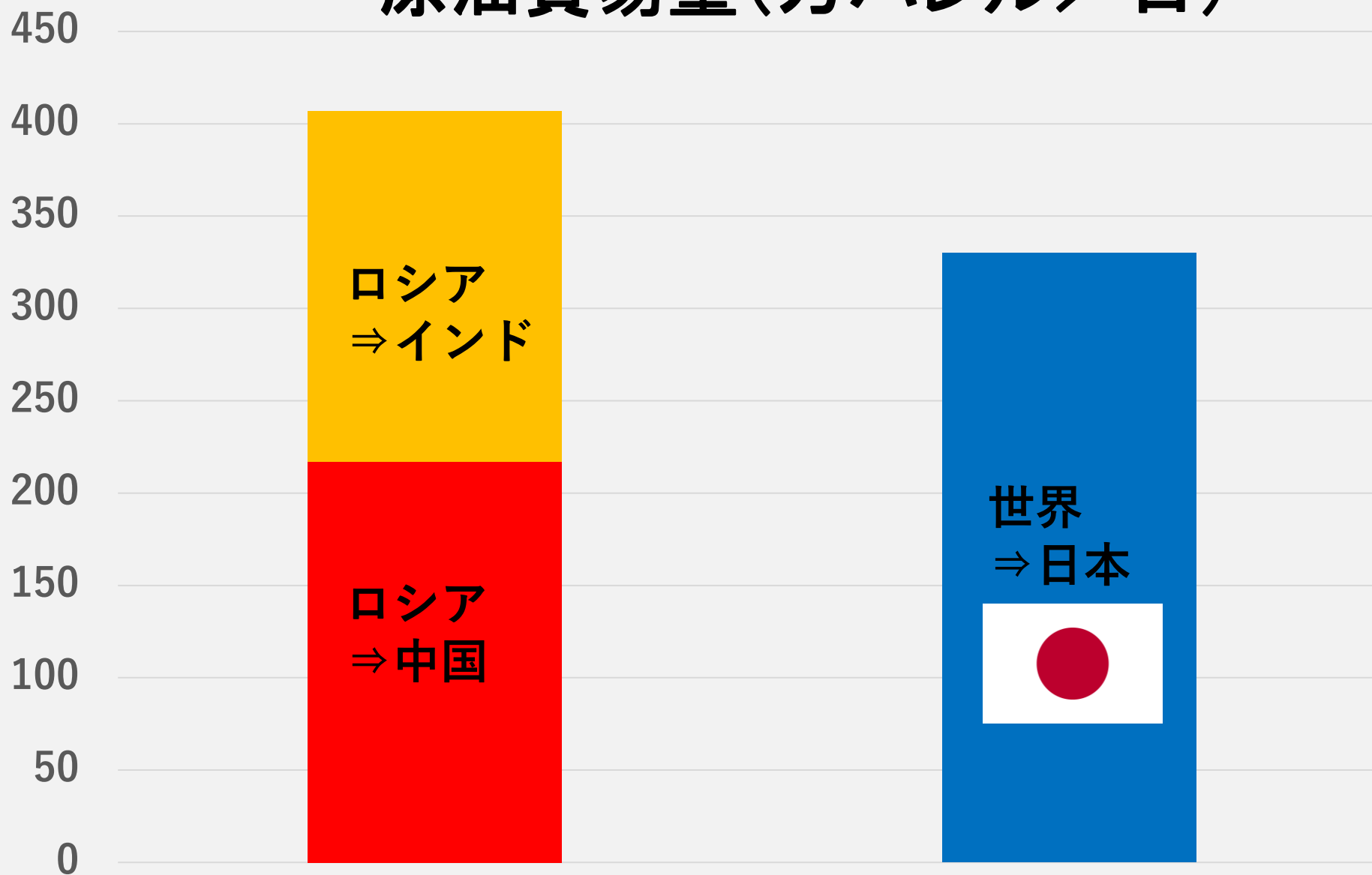
インド



石炭火力発電設備容量(100万kW)

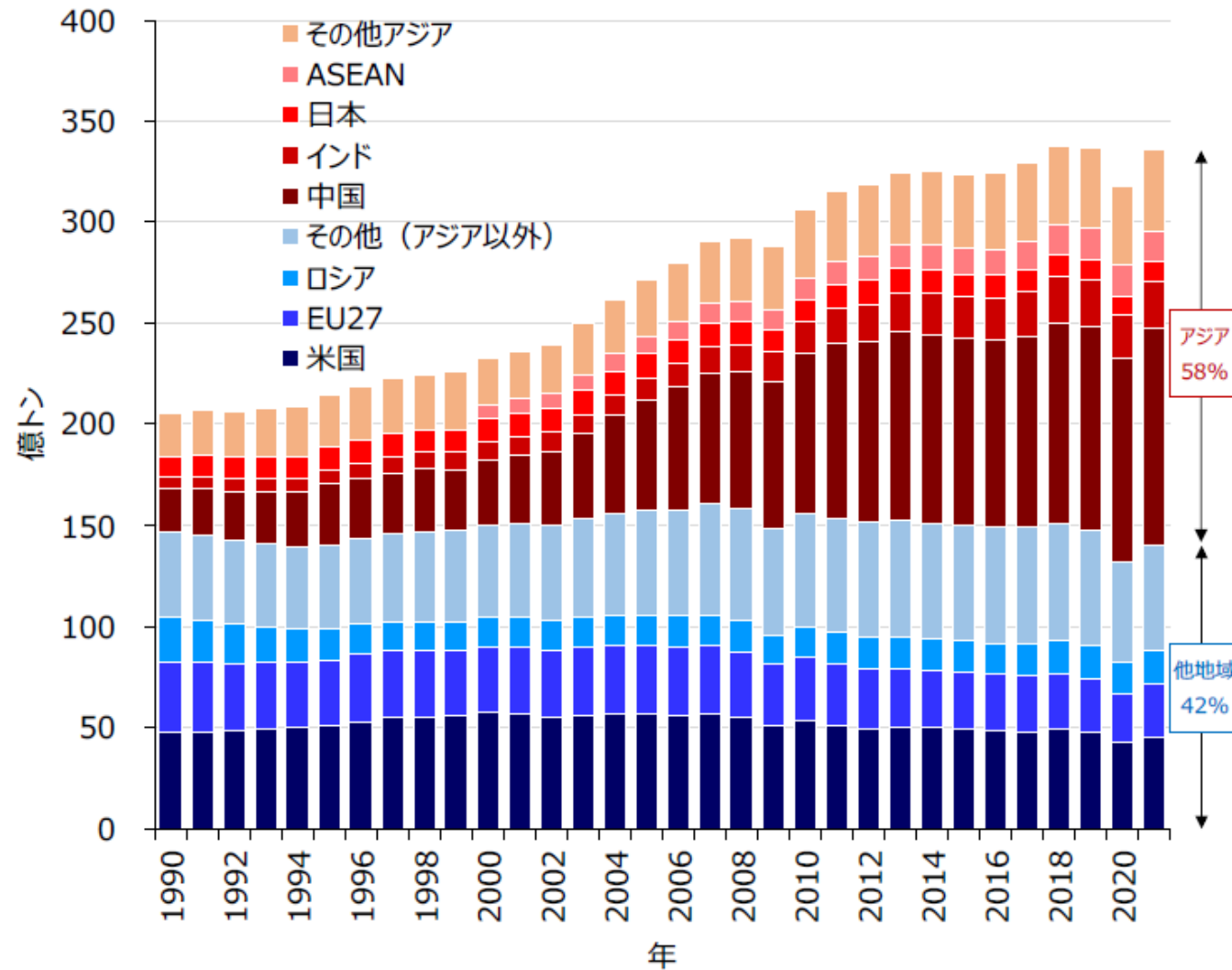


原油貿易量(万バレル／日)



(2024年1～3月)

【第132-4-1】エネルギー起源CO₂排出量の推移（主要国・エリア別）

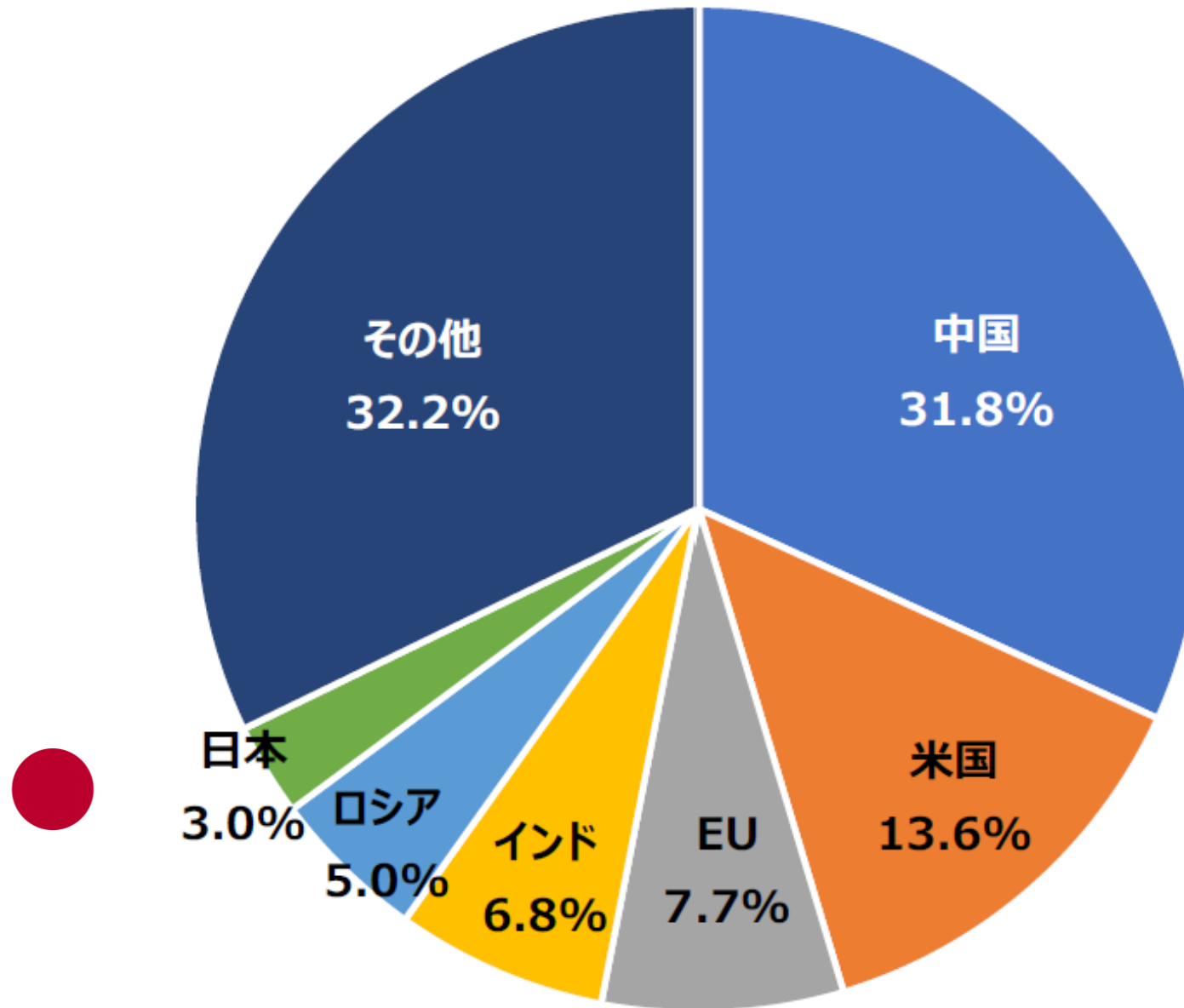


(注) 1999年以前の「その他アジア」には、「ASEAN」を含む。

資料：IEA「CO₂ Emissions from Fuel Combustion」を基に経済産業省

作成

【第131-1-4】2021年のエネルギー起源CO₂排出量(国別)



資料：IEA「CO₂ Emissions from Fuel Combustion」を基に経済産業省
作成



<https://www.amazon.co.jp/dp/4485301257/>